まちの話題

カツオ船 初入港
～新鮮な初鰹が水揚げ～

5月9日早朝、那珂湊漁港に今年初となるカツオが水揚げされました。

この日、水揚げしたのは、高知県のカツオ一本釣り漁船・第11順洋丸。八丈島近海で漁獲した鮮度抜群のカツオに市場は活気につつまれていました。

市場関係者は、「5月に入り主漁場が茨城近海に近づいており、これから夏にかけて順調な水揚げが期待できるだろう」と話していました。

昼のふれあいコンサート

5月13日、「市民ふれあいコンサート」（主催　ひたちなか音楽のまちづくり実行委員会）が市役所本庁舎玄関前の中庭で開催されました。

昼休み時、初夏の柔らかな日差しの中で、陸上自衛隊施設学校（学校長　小川祥一陸将補）音楽隊による野外演奏会が行われました。

同時刻に市役所を訪れた人は、中村裕史音楽隊長以下15人編成の吹奏楽によるリズミカルな行進曲や軽快なポップスなどの、さわやかな音楽に包まれた昼のひとときを過ごしていました。

コンサートは、毎月第2水曜日、午後0時15分から開催されます。

すてきな音色に誘われて… ～しおかぜのハーモニー～

◀心地よい音楽とともにフラを披露

5月10日、ひたち海浜公園音楽のつどい「しおかぜのハーモニー」が開催されました。

このイベントは、地元の音楽文化の振興を図り、21世紀のひたちを彩る風土・文化をはぐくむとともに、より多くの来園者に「音楽のまちひたちなか」の活動をPRし、市民に開かれた地域とともに歩む公園を目指すことを目的に国営ひたち海浜公園水のステージで毎年行われています。

「音楽のまち　ひたちなか」を推進するひたちなか音楽のまちづくり実行委員会「ひたちなかサウンドシップ」の6つのグループが、オカリナ、フォークソング、ハワイアンなどを披露。出演者の皆さんは、気温25度を上回る真夏日の暑さのなか、緊張しながらも楽しく会場を盛り上げながら演奏していました。また、すてきな音色に誘われ会場に足を運ぶ人も数多く見受けられました。

自治基本条例をつくる市民会議 「市民ディベートで地域の自治を考えよう」を開催

5月9日、ワークプラザ勝田で、“自治会加入の義務化の是非”と“公民館の民営化の是非”をテーマに、「ひたちなか市自治基本条例をつくる市民会議」による、市民同士のディベートが行われました。

この日のディベートでは、運営ボランティアの方々が、賛成・反対の立場のチームに分かれ、熱の入った議論が繰り広げられました。見学者は、各チームの提案内容について「どちらの主張がより説得力があるか」審査に参加しました。会場の参加者は、初めてのディベートを体験することで、議論には二面性があり、相手の意見にも耳を傾けることが必要であることを学んだ様子でした。

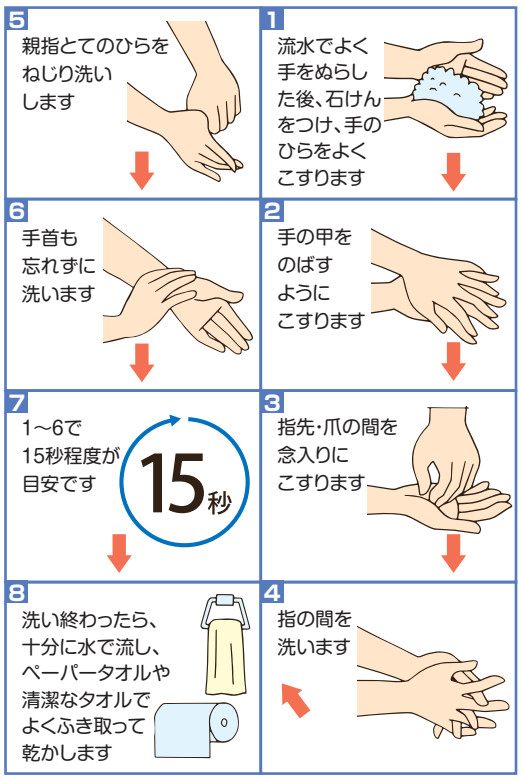
次回のワークショップは、「みんながいきいきと活動できる仕組みを考えよう」と題して、6月6日（土）に同所で開催されます。

新型インフルエンザを知ろう No.4
◆感染拡大を防ぐために

前回もお伝えしましたが、新型インフルエンザに限らず、インフルエンザの感染拡大を防ぐには、咳エチケット、うがい、手洗い、マスクの着用が有効です。

今回はこの中で、手洗いとマスクについて詳しくご紹介します。ぜひ、毎日の習慣にしてください。

○正しい手洗いの仕方



せきやくしゃみ、熱などの症状がある人は、早めにマスクをつけて下さい。健康な人も、屋内や乗り物など、換気が不十分で閉鎖的で込み合った場所に入るときにつけることが、国の新型インフルエンザ対策本部幹事会で勧められています。

○マスクの選び方・付け方

マスクは不織布製の使い捨てマスクを選びましょう。

マスクをつけるときは、取扱説明書に従い、すき間ができないように、鼻が隠れるようにつけます。マスクの外側にはウイルスがついている可能性がありますので、はずすときはひもを持って、マスク表面に触れないようにビニール袋などに密閉してごみ箱に捨ててください。

【問合せ】健康推進課☎276・5222